

乳児期の顔面浸出症状を経て姉弟の皮膚状態が整った小児アトピーの経過 (6歳・2歳小児2名)

症例 ID：001-06-TH3 | 記録日：2017年6月3日

1. 診断・治療前経過

長女は生後3週頃から顔、眼周囲、耳、鼻、首に湿疹と黄色い浸出物が出ました。生後4か月頃には頬から大量の浸出液が出る状態となりました。その後、下の子にも乳児期から皮膚症状がみられ、家族で治療へ取り組みました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	長女には生後4か月頃、近医でステロイド外用薬が処方されました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期に短期間使用しました。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
長女・生後3週～4か月	発症・悪化	顔と頸部の湿疹が広がり、頬から大量の浸出液が出ました。
2010年12月14日	長女治療開始	松本医院を受診し、漢方入浴と外用処置などを開始しました。
治療初期	症状の波	強い顔面症状を経ながら皮膚状態が段階的に変化しました。
長女1歳頃	経過後	皮膚状態が整い、日常生活への支障が減りました。
下の子・乳児期	発症	同様に皮膚症状が出て治療を開始しました。
記録時点	生活変化	2人とも成長し、通常の生活を送っていました。

4. ピーク時期

ピークは長女の生後4か月頃、頬から大量の浸出液が出て、頻回によだれかけを交換する必要があった時期です。

5. 困りごと

- 乳児の顔面症状が強く、家族の心理的負担が大きい時期がありました。
- 複数の医療機関で処方された薬について判断する必要がありました。

6. 経過のまとめ

長女は乳児期の強い顔面症状を経て皮膚状態が整い、その後、下の子も治療を続けながら成長しました。記録時点では姉弟とも通常の生活を送っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。